ＮＰＯ法人　男女共同参画ネット尼崎

参画 NEWS

2025.8　Vol. 63

- 2025 年度通常総会報告

  総会終了後のお茶付き懇親会

- 女性センター再整備計画について
- 女性の居場所事業「ちるる」、男女共同参画週間事業

  夏の自習スペースの提供、男性相談・LGBTQ 電話相談

- インフォメーション

さんかくネット

≪2025 年度通常総会報告≫

開 催 日:5 月 25 日(日)14:00～15:00
開催場所:尼崎市女性センター・トレピエ
参加者 15 人、委任状 28 通で総会は成立し、議案はすべて承認されました。

2024 年度の総括

1. 法人事業

2023 年度に引き続き指定管理者として女性センターの管理運営を行い、法人のミッションを果たすため、さらに、女性センター移転計画が発表されていることから、「どんな機能を持った女性センターを望むか」について、総会後に河合将生さん(office musubime)のファシリテートにより、意見交換を行った。さまざまな意見やアイディアが出され、会員同士の交流の場ともなった。

2024 年度は、第 6 期指定管理者募集(2025 年度から 5 年間)への応募に注力し、また、女性センターの貸館と図書館を統合するという市の計画に対して要望書を提出するなど、取り組んだ。

指定管理者応募については、 第 5 期(2020 年からの 5 年間)の事業実績をもとに、第 6 期指定管理の目標を「ジェンダー平等と多様性を尊重する社会の推進をめざして」と定めて、取り組むべき課題を明らかにし、当法人の企画力・事業実現可能力をアピールして、応募し、受託することができた。再委託先となる、清掃、施設管理事業者などの確保も行った。

女性センターの移転問題については、大井戸公園に北図書館と女性センター貸館機能を複合化した新図書館を整備し、女性センター機能は近隣で整備するとの市の方針が示され、情報収集を行った。サービスを提供する立場から、社会のニーズを把握して事業を行い市民をエンパワメントしてきた実績を訴え、女性センター機能を維持できるよう、求める要望書を理事会でまとめ、市に提出した。それに対する回答も得た。この問題については 2025 年度も、引き続き利用者などの意見も尊重しながら取り組んでいく。

デート DV 出前講座は、法人として、市内中学 15 校に講師を派遣し、デート DV 防止教育を行った。また、中央北生涯学習プラザで開催した「子連れ防災」の講座に講師を派遣して、男女共同参画の視点で考える防災について啓発した。

あまがさき女性フェスティバルでは、小物販売、アートワークショップ「花を作って飾る」を行った。また、全国から寄せられた就労応援のためのスーツや靴・カバンの内、就労には向かないものをバザー品として販売し、寄付金と合わせて 18,121 円を、NPO 法人性暴力被害者支援センター・ひょうごのサポートパックに寄付した。

2. 指定管理事業

(1)女性センター事業

当法人の主な事業である女性センターの指定管理事業については、2024 年度も企画趣旨や対象者によって、オンライン、ハイブリッド(対面＋オンライン)、対面のみ等、開催方法を変えて講座を実施した。男女共同参画社会啓発事業は、ジェンダー不平等を軽減する講座、男性の生きづらさや DV、性別役割を考える講座等、幅広く取り組んだ。「阪神淡路大震災から30年」ギャラリー展示を活かして、段ボールベッドや簡易トイレの体験を提供し、男女共同参画の視点からの防災啓発ミニ本である「ちょっとふしぎなピクニック」(大人用と子ども用)を配布し、女性センターの役割の周知も図った。受付ロビーに新着図書の展示、またギャラリー展示は、クイズや書き込みなど参加型の展示にする工夫をして、ジェンダー平等の啓発を行った。

また、地域女性活躍推進交付金を活用した女性のつながりサポート事業は、14 団体の関係機関の現状や居場所への要望について聞き取りをし、働く女性、DV 被害女性、子育て中の女性、どなたでも等、対象を絞って開催日時を分け、居場所「ちるる」と生理用品等の提供を行った。居場所「ちるる」は、託児利用もあり、のべ 91 人の参加者があり、女性センターで 9 回、自立支援施設等 3 か所(1 か所は当日キャンセル)に出向いて行った。参加のきっかけとなる癒しや楽しめるワークショップ(キンパづくり、レジン、ハンドマッサージ等)を行い、その後の交流タイムではおしゃべりが

弾み、孤独・孤立感の軽減とエンパワメントが図れた。関係機関とも連携を深めることができ、トレピエ事業についての認識が深まったことは大きな成果である。若い女性が来ないという昨年度の課題は、対象を絞って開催したことで、解決ができ、本当に孤立している人に向けた事業の実施ができた。

就労支援事業は、対象を 3 つのライフステージに分けたキャリアリスタート講座、自立のための PC 講座、就労継続に不可欠な保育所等入所を考える講座をはじめ、多様な働き方、ワーク・ライフ・バランス、性別役割分担のテーマで企画した講座を開催した。就労支援品も講座受講者、ハローワークからの紹介者など多くの女性に提供ができ、就職が決まった嬉しい知らせも届き職員も共に喜びを感じている。

マザーズハロークミニ就職面接会では、就職説明会、企業の面接が行われたが、参加者がリラックスして面接に臨めるような工夫や託児など、女性センターならではの経験を活かして実施した結果、参加者 48 人の内 8 名（その後 4 名）が就労につながった。

（2）施設管理

施設管理においては、建て替え計画施設であることを踏まえ、備品購入は料理教室の冷蔵庫 1 点、大きな工事は①3Fホールの冷却溶液漏れのため系統溶液投入工事、②経年劣化による 2F 女子トイレ換気扇の交換工事、③西側花壇地盤沈下によるガス漏れのため、地中ガス配管の緊急交換工事、の 3 件を行った。その他にも老朽化した設備の修繕や改修工事を施設維持のために順次行い、利便性と安全な施設管理に務めた。利用者の安全を守るため、職員と保育サポーター全員参加の消防・防災訓練を行うなど危機管理対策を行った。また、貸室稼働率が上がるように丁寧な運営を心掛けた。

2024 年度尼崎市女性センター・トレピエ事業（主催・共催・指定管理者自主事業）

内　容	実施月・回数	内　容	実施月・回数
（男女共同参画） 絵本とお茶でほっこりタイム	4 月～3 月 12 回	**（女性のための就労支援事業）** 個別就労相談付き自立をめざす女性のためのパソコン基礎講座（21 期）、（22 期） パソコン講座、就労相談	6 月～7 月 全 6 回 1 月～2 月 全 6 回
子どもを預けて読書でリラックス	4 月～3 月 12 回		
男女共同参画週間記念講演会 ジェンダー知らなきゃやばい時代がやってきた	6 月　1 回	保活どうする？～入所準備を始めよう～	9 月　1 回
男女共同参画市民企画講座 あなたの終の住み家は？深刻な高齢者の住宅問題	10 月　1 回	女性のための働き方セミナー 働く・働きたいママのタイムマネジメント講座	10 月　1 回
男女共同参画市民企画講座 ファッションから広がる世界～性別や体型に縛られない～	12 月　1 回	男女共同参画市民企画講座 働き方に悩む女性のためのフリーランス入門セミナー「自分らしく働く」を叶えよう	10 月　1 回
（2024 あまがさき女性フォーラム） セミナー ①抱っこ紐の正しい使い方～子育て中のモヤモヤを話そう～ ②「入管法等改正」から考える～外国人の人権は？～ ③こんなときどうする？マイ避難カードを作ってみよう～男女共同参画の視点から～ 全体会・映画「ストーリー・オブ・マイライフ/わたしの若草物語」	11 月　1 回 4 コマ	私らしく働く！ 女性のキャリア・リスタートセミナー①～③	11 月～12 月 3 回
		マザーズハローワークミニ就職面接会	2 月　1 回
		（その他就労支援事業） 就労・起業相談　年 75 回　計 57 人 マザーズハローワーク尼崎出張職業相談	4 月～3 月

（2025 あまがさき女性フェスティバル） 記念講演会 ジェンダー平等を一歩でも前に～あなたの小さな気づきから～ 作品展示、舞台発表、体験教室、販売、その他	3 月　2 日間	チャレンジひろば 就労に関する情報コーナーの運営 就労支援品の提供・レンタル 就労支援品の寄付数(全国各地より)	4 月～3 月
（暴力の根絶） DV にあった女性のための気づきと回復の講座	6 月～12 月 12 回	就労体験　（指定管理者自主事業）	4 月～3 月
男性 DV 被害のリアル～男性の生きづらさについて考えよう～	9 月　1 回	**（ギャラリー事業）** ギャラリー展示 8 回 ハローワーク求人情報等	4 月～3 月
デートDV 出前講座 15 校　尼崎市内中学校 15 校	6 月～1 月	**（託児事業）** 託児 84 人 保育サポーターのための研修 6 回	4 月～3 月
（男性セミナー） 男性のための料理入門講座	2 月　1回	**（地域連携事業）** 出前講座防災(中央北生涯学習プラザ) やってみよう子連れ避難体験 出前講座デート DV 防止・予防啓発（再掲） 教育機関連携　4　回(トライやる・ウィーク　3 校、町たんけん 1 校) 地域や団体等連携 DV 防止パネルの貸し出し	4 月～3 月
（男女共同参画の視点から防災・減災） こんなときどうする？マイ避難カードを作ってみよう～男女共同参画の視点から～（再掲）	11 月　1 回		
（女性のつながりサポート事業） ①　支援団体・関係機関との打ち合わせ及び交流（14 団体） ②　居場所づくり ちるる　9 回、出前居場所　2 か所	5 月～2 月		
（相談事業） 女性のための相談室運営 （電話、面接、法律）　（相談員研修）	4 月～3 月	**（その他事業）** 利用者懇談会 2 回 自主グループ、活動団体支援	4 月～3 月
（情報収集・提供事業） 男女共同参画情報誌「フェミナル」発行 2 回 情報資料室の運営（図書貸し出し、蔵書管理、ブックフェア、情報ピックアップ、情報相談、メールマガジン発行、お出かけ本棚） HP 更新	4 月～3 月	**（職員研修）** 内部研修　16 回 派遣研修　29 回 視察受入　2 か所	4 月～3 月

（特活）男女共同参画ネット尼崎　主催事業

内　　容	実施月・回数	内　　容	実施月・回数
男女共同参画出前講座	通年	アートワークショップ「花を作って飾る」	3 月 1 回
女性センターの機能、移転問題について考える 第 6 期指定管理応募に向けて、女性センターの役割について検討	4 月～3 月		

＊その他：ホームページの更新、参画ニュース発行２回

2024年度活動計算書

（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）単位:円

科　　目	決　算　額
Ⅰ　経常収益	
1.　入会金	3、000
2.　会費	194,000
3.　寄付金	39,000
4.　助成金等	0
5.　事業収益	59,954,895
6.　その他収益	11,973
経常収益計	60,202,868
Ⅱ　経常費用	
1.　事業費	
(1)人件費	31,362,869
(2)その他経費	19,823,962
事業費計	51,186,831
2.管理費	
(1)人件費	2,773,344
(2)その他経費	5,812,924
管理費計	8,586,268
経常費用計	59,773,099
当期経常増減額	429,769
Ⅲ経常外収益	
経常外収益計	0
Ⅳ経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期正味財産増減額	429,769
法人税、住民税及び事業税	179,700
当期正味財産増減額	250,069
前期繰越正味財産額	15,935,579
次期繰越正味財産額	16,185,648

2025 年度事業方針

事業実施の方針

1. 法人事業

2024 年度に引き続き指定管理者として女性センターの管理運営の活動を支え、法人のミッションを果たすために、会員の維持・増加、人材確保・育成、世代交代、行政との関係などの課題について、理事会でも組織基盤強化を議題として挙げて取組む。また、引き続き男女共同参画や組織運営に関する研修等に参加して、スキルアップを図り、法人が地域で頼りにされる存在となるようアピールしていく。

今年度からは指定管理第 6 期目となるが、引続き地域で頼りにされる法人をめざした事業に取り組んでいく。

北図書館と女性センター貸館機能の複合化計画や、約 5 年後となる女性センターを現在地で整備する計画については、法人として、引続き情報収集に努め、どのような女性センターが、地域で男女共同参画推進を展開していくために必要か、どのような機能整備が必要かなどを、利用者等の意見も聞きながら議論を重ね、積極的に発信していく。

2. 指定管理事業

(1)女性センター事業

今年度から5年間の指定管理者に選定され、「ジェンダー平等と多様性を尊重する社会の推進～ハブ機能の充実～」を目標に掲げた。新規事業として、相談事業は男性相談、LGBTQ 相談を、ジェンダー啓発は育児世代の男性の交流会を、就労支援では就労継続のための交流会などを始め、事業はすべて、企画趣旨や対象者を考え効果的な

開催方法で事業を進めていく。また、あらゆる年代の方が気楽に立ち寄れるような施設づくりに努める。

男女共同参画社会啓発事業は、「ジェンダーギャップを考えるカルタで学ぶジェンダー」の講演を皮切りに、講座参加者に SDGsポイント(あま咲きコイン)を付与し、ギャラリー展でのクイズなど、市民にわかりやすくジェンダーについて啓発する。今年度も、内閣府から受けた「地域女性活躍推進交付金」で、様々な課題・困難・不安を抱え社会との絆・つながりが希薄になっている女性に向け、社会参加のきっかけや自尊感情の回復を目的に「寄り添いサポート事業」を行う。その中の「居場所づくり」では、関係機関と協働して、女性センターでの開催、他施設での開催も含め、参加しやすくほっこりするワークショップと交流の場、生理用品の提供を行っていく。就労支援事業は、働きづらさや自立に悩む女性に寄り添い、多様な働き方を支援する講座、就労体験、就職支援品の提供、就労相談等、女性センターの資源や尼崎市雇用対策協定等を活用して、複合的に行う。

(2)施設管理

第6期指定管理より、施設修繕費の年度交付額が市より定められ、余りは市に返還する修繕費の精算制となった。建て替え計画施設であることを踏まえ市と相談しながら、優先度の高い修繕をして、老朽化する施設の改修工事を随時行っていく。また、利用者の希望や意見を尊重して、消耗品・備品購入を行い、施設全体を丁寧に管理して、貸室稼働率が上がるように運営を行っていく。

総会終了後のお茶付き懇親会

2025 年 4 月から、指定管理第 6 期目がスタートし、女性センターの再整備計画が示されており、若い世代や性別にかかわらず、誰もが来やすく活気あるセンターにしていくためにどんなことが考えられるかを、話し合いました。

いろいろな人と話せるフリースペースがあればいいなぁ

若い人のリピーターも増やしたい！

託児を６ヶ月からに

夜カフェは？

服やおもちゃの交換会

若い人も来やすく敷居を低く

女性センター移転問題について

尼崎市女性センターの貸館機能を北図書館に統合し、男女共同参画拠点施設は周辺で整備するとの市の計画に対し、昨年 9 月に市長要望書を提出し、それに対する市の回答を 12 月に受け取りました。

＜市長宛要望内容要約＞

女性センターの貸館部分を図書館に統合することは、女性センター機能の分断につながる。センターの機能が後退することがないよう求める。男女共同参画に興味のないセンター利用者も含め、啓発の機会が奪われる。グループ育成支援には日常的な接触が必要不可欠。フォーラムやフェスティバルは市民と共催で行い、ジェンダーの気づきを促してきた。女性センターは、情報提供、講座などの学びの場、相談対応、と総合的な支援を行っており、市内で唯一の男女共同参画拠点施設として、目的と役割を担っている。そのことを重視して欲しい。

＜市からの回答　要約＞

女性センターについては、ジェンダー平等を目指すべく、男女二元論だけでなく、誰もが個性と能力を発揮できる社会の実現に向け取り組むとともに、これまでの女性のための各種講座、セミナー開催、相談、就労支援、啓発活動を踏襲し、強化していくが、都市公園法の観点で、女性センター機能を備えた施設を公園内に設置できない。公園内に設置可能な図書館と貸館機能については、公園内に複合施設として整備し、女性センターについては、別途その活動の拠点を整備していく。　（三谷）

女性の居場所事業「ちるる」

内閣府と尼崎市の助成金を得て、2024 年度女性のための居場所事業「ちるる」を実施しました。「キンパを作って食べよう」、「レジンでアンブレラマーカー作成」、「管理職女性の交流会」、「ヘッドマッサージ」など、全 11 回、合計 91 人の参加がありました。

2025 年度も、昨年同様に働きづらさや、子育ての閉塞感、結婚、出産、介護などのライフステージの変化によるジェンダーの問題など、様々な課題を抱えている方々に寄り添うための居場所をトレピエだけでなく、自立支援を行っている関連機関にも出張して始めています。

6月～12 月の毎月第 3 金曜日の 18:00～20:00 には、「ちるスペース」という、働きづらさに悩む女性の居場所として、おしゃべりや交流の場を設けています。インスタントの味噌汁やスープとお菓子、お茶をご用意していますので、ご自身の夕食を持って、ぜひ、遊びにおこしください。「ちるスペース」の 8/22(金)は、おにぎり屋「ちるる」が一夜限り？で、開店します。お好きな飲み物をご持参ください。8/26(火)は、女性ならどなたでも参加できる「コラージュを楽しもう」を実施します。その他にも、子育て世代や DV 被害にあった女性を対象に、様々な企画を準備しています。対象となる方にご紹介やみなさまのご参加をお待ちしております。詳細は、館内チラシをご覧ください。

８月 22 日（金）18：00～20：00　おにぎり屋「ちるる」
８月 26 日（火）13：30～15：30　「コラージュを楽しもう」

男女共同参画週間事業

2025 年 6 月7日(土) 13:30～15:30“「ジェンダーギャップを考えるカルタ」 で学ぶジェンダー”を実施しました。講師に、帝塚山大学法学部教授　末吉　洋文さんをお招きし、講師がゼミ生と作成した、「ジェンダーギャップを考えるカルタ」で実際にカルタ遊びもしました。参加者からは、「この札わかる～」「家に帰ったら家族で性別役割分担について考えてみます」と言った声がありました。最後は、各自カルタの読み札を作成し、カルタを通してジェンダーギャップを”自分事“として考えることができました。帝塚山大学生のカルタと、この講座内で作成したカルタもギャラリーに展示していますので見に来てください。

夏の自習スペースの提供

7/22(火)～9/5(金)平日 9:30～16:30 の期間、1F 講座室を 10～20 代の学生のための自習スペースとして開放しています。エアコンのきいた涼しい部屋で、勉強や情報資料室の本を読んだり、昼食をとることもできます。センター事業で使用するため利用できない日程もありますので、詳細は、HP やインスタグラム、チラシをご確認ください。

男性相談、LGBTQ 電話相談

2025 年 4 月より、男性のための悩み相談と LGBTQ 相談電話が始まりました。
ひとりで悩まずお気軽にお電話ください。(祝日はのぞく)

相談	種類	相談日	時間帯
男性のための電話相談	1 日 1 回　30 分 ☎06-6439-6657	第 3 土曜日	19～21 時
LGBTQ 電話相談	1 日 1 回　30 分 ☎06-6439-6777	第 4 火曜日	17～20 時

＊女性のための悩み相談は、相談日が変更しています。詳細は、HP またはリーフレット等をご覧ください。

夏から秋の講座・セミナーのご案内

	講座名・内容	開催日	受講料
男女共同参画セミナー	子どもを預けて読書でリラックス	毎月１回　第４水曜日 10:00～12:00 ９月は第４水・土曜日の２回	無料
	絵本でほっこりタイム※	毎月１回　第２火曜日　10:30～11:30 ８月は第３火曜日	250 円
	DV にあった女性のための 気づきと回復の講座＆語り合い	６月 13 日～12 月 12 日 全 12 回 第２・４金曜日 10:00～12:00	無料
	女性のための居場所「ちるる」 コラージュを楽しもう	８月 26 日（火）13:30～15:30	無料
	市民企画講座「みんなちがってみんないいってどういうこと？」	８月 30 日（土）10:00～12:00	無料
	ハートフルシネマ巡回映画会 「窓の向こうへ」	９月 10 日（水）10:00～11:30	無料
	市民企画講座 「絵本を通じて考える性の多様性」	10 月９日（木）18:00～19:30	無料
	パパと子どもの遊びとしゃべり場＆ママは椅子ヨガでリラックス※	10 月 11 日（土）10:00～11:30	無料
	市民企画講座「女性センターが地域で果たす役割のこれまでとこれから」	10 月 25 日（土）14:00～16:00	無料
	2025 あまがさき女性フォーラム	11 月 16 日（日）10:00～16:00	無料
	女性のための居場所「ちるる」	随時	無料
	デート DV 出前講座※ お互いを大切にする関係とは	随時	無料
就労支援セミナー	働く・働きたいママのためのコミュニケーション講座	９月 11 日（木）10:00～12:00	無料
	保活どうする？～入所準備を始めよう～	９月 19 日（金）10:30～12:00	無料
	ロールモデルから学ぶ「フリーランス編」	10 月 30 日（木）10:00～12:00	無料
	働く女性のメイクアップ講座	11 月 21 日（金）10:30～12:00	無料
	女性のためのキャリアリスタートセミナー	12 月開催予定３回	無料

※の講座には保育はありません

＊＊おねがい！！＊＊＊

特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎は、男女平等推進や子どもの権利尊重をテーマに活動を行っています。ぜひ、活動趣旨に賛同いただき、会員になってください。

＜法人沿革＞
2003 年 10 月　NPO法人格取得
2004 年 7 月～現在　指定管理者として尼崎市女性センターの管理運営を行なう（第 6 期）
2008 年 1 月～2012 年 3 月　子育てキーステーション開設
子育て支援活動を行なう

＜会費＞
正会員：入会金 1,000 円　年会費 3,000 円
賛助会員：個人 1 口 2,000 円／年
団体 1 口 5,000 円／年
郵便振替　00920-1-268479
特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎

💛 ご寄付いただきありがとうございました。
合田恵さん、村田秀子さん

💛 参画ニュースのアンケートにご回答いただき感謝です。
ご意見をどうぞお寄せください。
https://forms.gle/1MBZ8FvXqeFwTJ7C7

発行日　2025 年 8 月発行
発行者　特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎
尼崎市潮江 3-4-18　TEL 06-6499-5486
https://sankakunet-amagasaki-npo.com/